

発 言 通 告 書

発言者氏名	藤野英明
発言の会議	令和8年 6月 9日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 昨年の市長選挙の直後に高齢化対策と介護支援が焦眉の急だと取材に答えた市長の危機感について

- (1) 高齢化対策と介護支援について市長は担当部局にどのような指示を出したのか。重点的に取り組むよう指示した事項があれば、それぞれ具体的に伺う。
- (2) 高齢化対策と介護支援への危機感は、それぞれ具体的にどのような施策や予算措置として反映されたのか。
- (3) それらの取組によって、再選後に市長が感じた強い危機感は何の程度改善されると見込んでいるか。また、今なお最も大きな課題は何だと認識しておられるのか。

2 介護者支援（ケアラー支援）のために本市が取り組む必要性について

- (1) 本市独自のケアラー支援条例制定の必要性について
 - ア 2023 年度には本市独自のケアラー支援条例制定の意義を認めていた担当部局が、2024 年度にはその必要性は低いとの見解に至った理由をどのように認識しておられるのか。

イ 担当部局の見解とは別に、市長御自身は本市におけるケアラー支援条例制定の必要性をどのように認識しておられるのか。また、条例制定に向けた検討を進める考えはあるか。

(2) 来年度改定を迎える各種行政計画の中に本市の基本姿勢としてケアラー支援を明記する必要性について

3 援助希求力の弱い男性に対する相談支援の必要性と発信の強化について

(1) 男性は強くあらねばならないし他人を頼ってはならないという価値観で生きてきた援助希求力の弱い男性の抱えるリスクに対する市長の問題意識について

(2) 男性向け相談支援の取組について

ア 2023 年から現在まで、本市は男性向け相談を試行も含めて実施してきたのか。具体的な取組とその効果を市長はどのように受け止めておられるのか。

イ 現時点ではどのような課題があるとお考えか。その改善のために今後はどのような取組が必要だとお考えか。

(3) 援助希求力の弱い男性に向けた発信強化の必要性に対する市長の認識について